

2014年9月29日(月)

まん中広場賑わい創出イベント第3回「うば」de自然体験

打楽器を作る参加者津市



打楽器「カホン」や角いす作り

「まん中広場」で木工体験イベント 津

津市大門の繁華街、センターパレス横にある「まん中広場」で28日、「ひろばde自然体験」と銘打つ木工体験イベントがあり、ペル「発祥の木製打楽器「カホン」や角いす、ゴム鉄砲作りに家族連れらが挑戦した。

フラメンコなどでも使う「カホン」は、参加者らが厚さの違う県産の杉板などを使い製作。高低さまざまな音が出るよう仕上げ、子供や若者らもまたがって手などでたたき大喜びだった。カホン作りに初挑戦した津市安濃町の主婦、小野真里さん(43)は「子供から大人まで楽しめそう。音楽好きな仲間が多いので、演奏できるよう頑張りたい」

と話していた。一方、子供たちに人気で順番待ちの行列ができたのは角いす作り。三重大付属小1年で津市浪見町の湯浅陽太君(7)は「上手にできたのでうれしい。家でもパパと一緒に作りたい」と目を輝かせた。会場では地元バンドのステージ演奏や津ぎょうざ、伊勢うどんなどの飲食ブースや射的コーナーもあり、歓声が絶えなかった。官庁や企業、繁華街の一角にある「まん中広場」では市が特定非営利法人「津市NPOサポートセンター」に委託し、7月からグルメリやゾンビメイクなどの交流イベントを毎月開催。今回は自然体験を教える自然学校などの協力を得て3回目のイベントとなった。